



2011年決議文

国際ソロプチミストアメリカの決議文集

目 次

序 文	2
連盟決議を運営・管理する手続	3
総 合 分 野	4
2004:1 議事手続の学習	
2004:3 「女性に機会を与える賞」	
2010:3 ソロプチミスト会員構成における民族の多様性	
プログラム.....	5
2004:4 汚 職	
2004:5 女性を公職に	
2006:1 家庭内暴力	
2006:3 心臓の健康に関する理解促進	
2010:1 売春を強いられる女性と女兒	
2010:2 投 票	

序 文

1928年に連盟が結成されて以来、クラブはソロプチミストの目的を推進するために理解促進、提唱、活動を呼び掛ける決議を採択してきました。ソロプチミストクラブのアメリカ連盟（当時そう呼ばれていました）は、1928年に首都ワシントンで開催した第1回連盟大会で2つの決議を採択しました。1930年のフィラデルフィア大会では、さらに3つの決議を採択しました。

決議は採択された年と順番に従って番号が振られています。たとえば、2004:1 議事手続の学習は、2004年に提案され、採択された第1号決議であることを表しています。ある決議を引合いに出すときは、必ずその決議の番号と標題を使用して下さい。

この「決議文集」は、連盟事務局にアーカイブスを設けるという連盟の75周年記念プロジェクトの一環として作成されました。アーカイブス担当スタッフ/記録マネージャーのリサ・マンジャフィコが、連盟が採択した決議をすべて年代順に編纂しました。そして決議の内容によって分野別に分け、それを1994-95年期規約決議委員会が検討しました。目標がすでに達成されている決議や後の決議に取って代わられた決議は削除しました。この「決議文集」に含まれているものは、その目的が達成されたと見なされるか、連盟大会での措置および郵便投票でクラブによって修正、再確認、廃止されるまでは、現に有効であると考えられている決議です。

決議は、連盟レベルのプログラム活動の重要かつ不可欠な部分となります。連盟の全域において、決議によって連盟の限られた資源の使用が導かれ、非常に重要な問題に理解促進、提唱、活動が集中されます。この決議のプロセスにクラブがもっと積極的に参加することを奨励するために、連盟理事会は「連盟決議を運営・管理する手続」（3ページ参照）を採択しました。「決議文集」は2年ごとに更新されます。

連盟決議文は、国際ソロプチミストが採択し『私たちの見解』で公表している「ソロプチミストのポジション声明文」と重複しないように作られています。クラブは、何らかの問題についてのソロプチミストの姿勢を研究する場合、それに関連するポジション声明文や既存の「決議」を知っておく必要があります。

この「決議文集」が興味をもって読まれ、クラブが新しい決議を提案したり、既存の決議についての意見を寄せるきっかけとなるよう願っています。

連盟決議を運営・管理する手続

1. 決議は、きわめて重要な事項に関するもので、広い関心をよびかつ国際的広がりのあるものとする。扱う課題は、ソロプチミストプロジェクトおよび奉仕プログラムに重要な関連があるものでなければならない。愛国的な政治問題にからむ事柄、個人を誉め称えるまたは個人を偲ぶ決議は取り上げない。連盟ポリシー、運営または機構に関する事項などについての決議は、連盟理事会に付託して迅速な審議と処置を求める。
2. 決議文は廃止されるまで、あるいは連盟理事会の同意を得て、規約決議委員会が目的が完遂したとみなしたときまで、現行通り効力があるものとする。
3. クラブおよびリジョンには、すべての決議文を検討し、それについての意見や勧告を連盟規約決議委員会に提出することを奨励する。さらに、連盟規約決議委員会は、10年間効力のあった現存の決議文を見直し、ソロプチミストプログラム、適時性、見解の変化、新しい知識・情報などの点で適正か否かを検討する。規約決議委員会の勧告によって、そのような決議文を再確認する、改正する、廃止するなどの告知は、措置をとることになる連盟大会の招集状に記載する。効力をもってから10年未満の決議文についても、クラブの議決を求めて、見直し、勧告することができる。
4. 決議案を起草する場合、不必要な重複を避けるために、起草者は提案決議案に密接な関係のある現存決議文および『私たちの見解』に掲載されている国際ソロプチミスト見解声明文を理解、認識していなければならない。見通しのある確かな目標と日程を述べる。決議の述べる課題について検討するうえで問題となる次について答えていなければならない。
 - 課題の意味する関心事、問題あるいは機会に厳密に何であるか？
 - 課題がソロプチミストの目的にどのように関連しているか？
 - ソロプチミストクラブは、具体的にどのような「理解促進」、「提唱」、「活動」を行う必要があるのか？
 - 決議を完遂したことによってどのように社会または組織に役立つのか？
5. 決議案提出期限後に持ち上がった緊急な内容の決議は、連盟細則第13条第13.03項に従って連盟大会審議を求めて上程することができる。

総 合 分 野

2004 : 1 議事手続の学習

能率よく会合を開き、多数派の意志と少数派の声を守り、諸問題や動議に関する規律正しい討議を行なえるようにするために、議事手続全般について会員全体を指導する必要がある。

ソロプチミスト規約に特記されていない全ての事項については、最新版「ロバート議事法」が、議事法権威となっている。

よって次の通り決議する：

1. 連盟大会、リジョン大会期間中に議事手続に関する分科会を設けることを奨励する。
 2. クラブ会長は、基本的な議題を準備し、簡単な動議と討議を取り扱う方法を学ぶように奨励される。
 3. 連盟の全てのレベルにおいて、そういった事柄に関して助言をする議事法士を任命する。
- (1954年採択、2004年改正)

2004 : 3 「女性に機会を与える賞」

「女性のために変化をもたらす」は1994年以来国際ソロプチミストアメリカの永続的実施フォーカスであり、

「女性に機会を与える賞」は、就業機会の向上を通じて女性が自立した生活を送るのを助けるという点で組織の目的を最もよく具現していることから、SIAの主要な奉仕プロジェクトなのであり、

プログラムに参加しているのはSIAのクラブの60パーセント未満であり、そのことが、主要奉仕プロジェクトを中心に公的認知を得るとともに自らのアイデンティティを打ち立てる組織の能力に悪影響を及ぼしており、

公的アイデンティティを作り出せないことが、会員を獲得・維持する努力と、さらに重要なこととして、女性と女兒の生活向上という自らの使命を完遂する組織の能力に悪影響を及ぼしている。

よってここに、組織が女性と女兒を助けるという使命を達成するのを助けることになる、SIAのアイデンティティ構築活動に積極的に貢献するために、全クラブによる「女性に機会を与える賞」への参加を奨励し、リジョンおよび連盟レベルで出来る限りの手段によってそれを助けることを決議する。

(2004年採択)

2010 : 3 ソロプチミスト会員構成における民族の多様性

1921年にソロプチミストが創設されて以来、特に北米で、民族的な文化や構成に大きな変化がみられる。

また女性が、運営管理、ビジネス、専門職において指導的立場に就く機会が増えている。

職業、文化、民族グループの多様性は、ニーズに対する認識を深めることを通して、異なる視点を促し、寛容を高め、理解を増大させる。

ソロプチミスト組織は、人権および女性の地位を高める代表的な大きな力として、社会への奉仕を続けることを目指している。

よって、連盟内の全ての国々にあるソロプチミストクラブは、自分たちが奉仕を提供している地域社会の中の民族グループ全てから、適格な代表者を会員に招請することを決議する。

さらに国際ソロプチミストアメリカは、民族的に多様な女性をメンバーシップ資料および広報資料に含めることにより、そういった努力を支援することを決議する。
(1990年採択、2000年改正、2010年再確認)

プログラム

2004:4 汚職

国連の情報筋によれば、女性に焦点を当てたプログラムは、国家予算のほんのわずかを占めるのみであり、汚職によって資源が邪道に導かれると女性は不相应な被害を受けることになる。

男女差別は、腐敗した法制度の中では強化される。

汚職は、女性と女児の地位向上に不可欠な教育のための公的資源を減少させることになる。

女性が政府役職に占める割合が大きくなるほど、汚職が緩和するという調査結果が示されている。

汚職と賄賂は、環境の劣化を継続させ、そのことは清浄な水、澄んだ空気、食物を栽培できる肥沃な土地へのアクセスを限定することで貧しい女性とその家族の健康と幸福に悪影響を与える。

汚職は、売春や女性と女児の人身売買を増やす組織犯罪の繁栄を許すことになる。

よってここに、ソロプチミストたちが次を行うことを決議する：

1. オープンで誠実な政治制度、法律制度を提唱する。
2. 政府、行政事務、警察、法律機関に勤務する女性を増やすことを支援する。
3. 汚職の責任者が起訴され、処罰されるような司法制度を支持する。

(1954年採択、2004年改正)

2004:5 女性を公職に

国際ソロプチミストは、実業界の経営者、管理職、専門職の女性が組織する世界最大の職業分類による奉仕団体であり、また

世界人口の51パーセントを女性が構成しているが、それに比べて政策決定する地位に就いている女性は極少数に過ぎないのが現状であり、

女性がもっと政治のあらゆるレベルの意思決定に参画できるよう図らねばならない。よってここに、

ソロプチミストクラブが、以下を実践することを決議する。

1. 政治のあらゆるレベルでの意思決定職を目指すのに相応しい有能で有資格の女性候補者を見つけ出して応援する。
2. 公職および法人の役員会に相応しい有資格で有能な女性のリストを提供している、無党派の女性組織同盟を支援する。
3. 女性の政治参加および政策面での意思決定のあらゆる分野でのリーダーシップを助長する。
4. 自国の政府に対して、「第4回世界女性会議」で打ち立てられた、意思決定への女性の代表参加を増やすための誓約を支援するよう促す。
5. 政治生活まつわる女性差別を終結することを目的とした「女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約 (CEDAW)」の行動計画の批准を提唱し徹底追求する。
6. 全ての国において、男女公平を促進する法律を支援するよう人々を奨励する。
7. 変化をもたらす上で女性による投票の力を認識する。
8. 女兒にメンタリングを提供するプログラムに、政治教育や政治面での理解促進を含める。

(1982年採択、2002年、2004年改正)

2006:1 家庭内暴力

ソロプチミストは、個人的にまた財政的に、女性の地位の向上を図る地域社会奉仕およびプロジェクトを開発し支援する活動に従事している。

家庭内暴力とは、身体的、性的、心理的虐待の結果として他人の幸せを危険に陥れることまたは安全を脅かされるという恐怖を個人に与えることである。

女性および子供たちに加えられる家庭内暴力は深刻な社会問題となっており、貧富を問わず社会のあらゆる階層、文化、世界中の国々に存在している。

報道される家庭内暴力事件の発生件数は、ほとんどの国々で驚くべき割合で継続しており、時には生涯の傷跡または致死をもたらすこともあるが、一方では、利用可能な暴力防止対策や被害者援助の手立てが十分でない。

1994年に、国際ソロプチミストアメリカは、家庭内暴力の問題を活動の重点課題として採択した。

よって次の通り決議する。

連盟全域で女性に加えられる家庭内暴力を防ぎ、暴力の被害者を援助するために、家庭内暴力の問題を引き続き重点活動として取り上げる。

さらに、家庭内暴力に関する実施重点課題を支持してクラブが次の活動に取り組むことを奨励する：

1. カウンセリング・プログラム、ホームレスまたは虐待された女性のシェルター、家庭内暴力により危機状況にある被害者を助ける危機救援センターを開発または支援する。
2. 法律執行人、法律および医療専門家、行政機関の役員を対象にした研修プログラムを含めて、家庭内暴力防止および支援サービスを開発または支援する。
3. 男児および女兒に健全な人間関係について教えるプロジェクトを含む、防止プロジェクトを開発および支援する。
4. 加害者から逃れてきた被害者を援助するプログラムを開発、支援する。それには、職業訓練、就職斡旋、被害者保護プログラム、カウンセリング・サービスを含む。

5. 法制定者（議員）に請願書を送るキャンペーン、地域の啓発プログラム、他の団体との連携活動などによって、被害者を保護し、家庭内暴力を防止し、犯罪を処罰する法律の制定を積極的に提唱する。
6. 新聞、雑誌、ラジオ、映画・音楽産業、商品を宣伝するマスコミに対して、投書やその他の適切な手段を講じることにより、家庭内暴力に対するソロプチミストの見解の理解促進、提唱、活動を展開する。

さらに、連盟は、次のような活動を通じて、クラブの努力を支援する：

1. 家庭内暴力に関するモデル・プログラムを含めて、家庭内暴力に関する情報資料をリジョン、クラブに提供する。
2. 家庭内暴力に関する全国的、国際的な提唱活動に参加する。
3. リジョン・レベルおよびクラブ・レベルでの家庭内暴力プロジェクトのネットワークをコーディネートしてプロジェクト推進を補佐する。

（1994年採択、1996年、2006年改正）

2006：3 心臓の健康に関する理解促進

国際ソロプチミストのプログラム・フォーカスは、女性の人生全般に亘って最高の精神的および身体的健康を擁護している。

健康である状態を増進し、病気を予防し、女性と子供に関わる病気における早期発見と治療を提供することは、国際ソロプチミストのゴールである。

世界中で、心臓病は女性の第1の死因となっており、毎年、850万人の女性たちを死に至らしめ、世界の女性の死因の3分の1を占めている。

心臓発作や卒中などの心臓血管疾患（CVD）の重荷の80パーセントは開発途上国に担われている。

高血圧、高コレステロール、高血糖値、また、喫煙や、過度の飲酒などの、CVDの主要な危険因子は、大抵の場合、予防可能である。

国際ソロプチミストは、よりよい栄養状態と運動を通しての健全な生活様式と、女性と女兒のための教育の推進を通してタバコやアルコールなどの薬物濫用の予防を提唱している。

よって、ソロプチミスト・クラブとリジョンは、CVDの危険と戦うために次のような活動を実施するよう奨励されるべきであると決議する：

1. 会合、プログラム、新聞記事、「心臓のために歩く」などの募金活動などを通して、ソロプチミスト会員、および地元の地域社会の中で、CVDの危険に関する認識を高める。
2. 栄養および運動や、タバコと、過度の飲酒の防止に関する女兒と女性のためのプログラムを含む、予防活動を開発し、支援する。
3. 新聞、雑誌、ラジオ局、テレビ局、消費財の広告業者などのメディアに手紙を書くことを初め、その他の方法を通して、心臓の健康の認識に関するソロプチミストの立場（例えば、「あなたの心臓を愛しましょう」など）についての理解を促進し、提唱し、行動する。

（2006年採択）

2010：1 売春を強いられる女性と女兒

売春を強いられる女性と女兒は、繰返し殴られ、レイプされており、その68%が心的外傷後ストレス障害（PTSD）の規準を満たすように、売春は女性に対する暴力の一形態である。

自分の体を一日に5人から20人の男性に売することは、職業の「選択」とは言えない。

調査によると売春を強いられる女性の89%が可能であれば直ちに売春をやめたいと考えている。

殺人率が売春以上に高い職業は他に存在しない。

売春が女性と女兒の人身売買の横行を助長している。

大部分の売春婦が自分と自分の収入をコントロールする他者に支配されている。

社会の人々の多くが、売春を犠牲者なき犯罪という認識を持ち続けている。

女性と女兒の体を売買することを黙認する限り、女性に対する暴力が終結することはなく、また男女平等も達成されることはない。

買春を犯罪化し、売春を非犯罪化した唯一の国（スウェーデン）でのみ、実際に人身売買と売春が減少している。

「危害の低減」を目標とする売春の合法化では、基本的人権の保護が不十分である。

よって、ソロプチミストクラブは、売春を女性に対する暴力として非難し、女性と女兒の売春を終焉させ、人身売買を減少させるために以下の活動に取り組むことを決議する。

1. 売春の被害者を支援し、その被害者を犯罪者として扱わない法律とプログラムを支持する。
2. 買春を犯罪化する法律を提唱する。
3. 買春する人に対して(元売春婦も交えたワークショップなどの)教育を奨励する。
4. 若者に男女の健全で親密な交際を教える学校プログラムを推進する。
5. 売春合法化の努力に対抗する。
6. 売春についての態度を「世界最古の職業」から「世界最古の抑圧」に変えるよう努力する。
7. 自分の身近にいる男性・男子とともに売春について率直かつオープンに話し合い、売春が女性と女兒、また男女関係に及ぼす影響を語る。
8. 売春を正当な職業として取り扱う努力に反対する。

(2010年採択)

2010：2 投票

国際ソロプチミストアメリカは、地元および国内レベルで変化を引き起こすための投票の力と重要性を確信している。

情報をもった住民が投票権を行使することは、民主主義の基礎である。

よって、ソロプチミストの一人ひとりが投票権を行使すると共に、地域社会の他の住民に対して、案件に関する情報を得、選挙人名簿に登録し、投票するように奨励することを決議する。

(1950年採択、2000年改正、2010年再確認)